

いせ



第57号

令和元年12月1日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報検討分科会

市議会だより

題字 中島小学校6年 中川 怜美 さん



■主な記事■

9月定例会の概要	2ページ
決算特別委員会の概要	4ページ
審議した主な議案の内容	5ページ
市政を問う(議案質疑・一般質問)	8～12ページ
条例等検討分科会の活動	13ページ
伊勢市高校生議会	14～16ページ

海を渡り長距離移動する蝶、アサギマダラ

「伊勢市横輪町に植えられたフジバカマの花にアサギマダラが飛んできました。飛んで来るか来ないかわからない、珍しい蝶です。」

伊勢市内在住の方にご投稿いただきました。

撮影日 2019年10月7日

9月定例会

平成30年度 決算審査

- ・大型公共工事が集中し、決算規模は過去最大。
- ・市町村合併以降、初めて財政調整基金23億円を取り崩し、財源に活用。
- ・今後の財政運営を注視し、一般会計、特別会計および企業会計を認定。

9月定例会の概要

令和元年9月定例会を、9月9日から10月8日までの30日間の会期で開会しました。

今定例会では、市長から「平成30年度決算認定について」をはじめとする15議案が提出され、本会議、決算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各決算議案を可決・認定、他の議案をいずれも原案どおり可決、人事案件については同意しました。そのほか報告4件を承認、請願4件を採択、発議7件を可決しました。

主な議案の内容は、5ページ、議決結果は6〜7ページをご覧ください。



藤井会計管理者から決算の概要説明



畑代表監査委員から決算の監査結果報告

9月定例会日程

- 9月
- 9日。本会議
(議案の提案説明等)
。総務政策委員会
。全員協議会
。広報検討分科会
 - 17日。議会運営委員会
。本会議(議案質疑・委員会審査付託・一般質問)
。決算特別委員会(全体会)
 - 18日。本会議(一般質問)
。議会運営委員会
。決算特別委員会(分科会審査(27日))
。産業建設分科会
。産業建設分科会
。教育民生分科会
。教育民生分科会
。総務政策分科会

10月

- 1日。産業建設委員会
- 2日。教育民生委員会
- 3日。総務政策委員会
- 4日。決算特別委員会(全体会)
- 8日。議会運営委員会
。本会議(議案採決等)
。教育民生委員会
。広報検討分科会

平成30年度決算の概要

桜浜中学校の建設、市役所本庁舎の改修、新市立伊勢総合病院の建設等の大型公共工事が集中し、決算規模は過去最大となりました。また、一般財源の不足分は年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金23億円を取り崩し、財源として活用しました。

なお、平成30年3月に作成した財政収支見通しでは、令和元年度から令和3年度までの3カ年において、決



桜浜中学校
(平成31年4月開校)

算ベースで約35億円を取り崩す見込みです。今後も行財政改革を通じて、事業の見直しや優先順位、歳出の抑制、歳入の確保等をしつかりと意識し、市職員一丸となって取り組むことを市議会として期待し、平成30年度決算を認定しました。

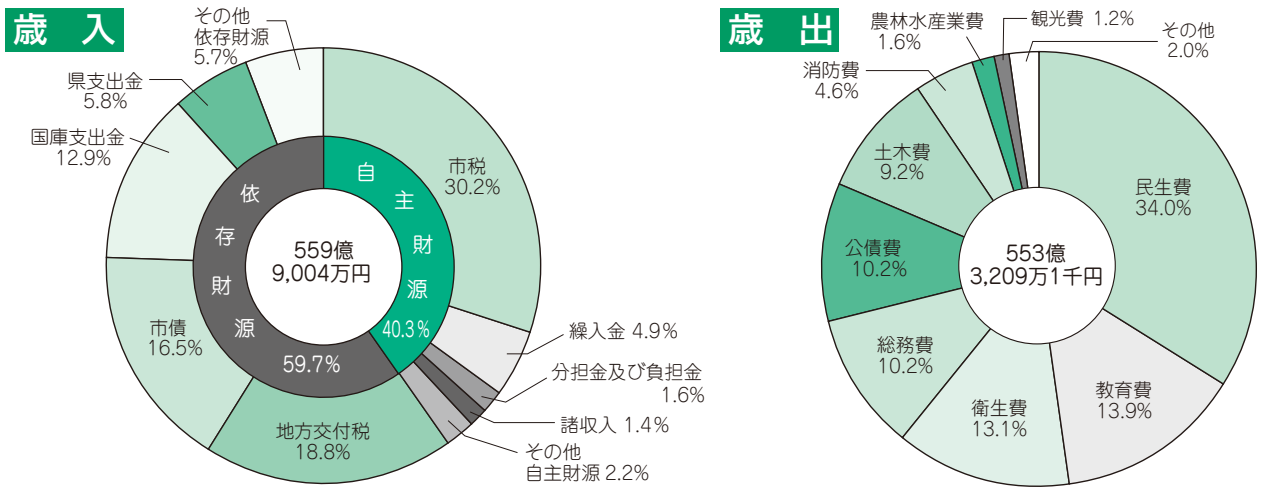
本会議での反対討論の概要

平成30年度決算認定について、楠木議員から介護保険特別会計に反対するとの意見がありました。

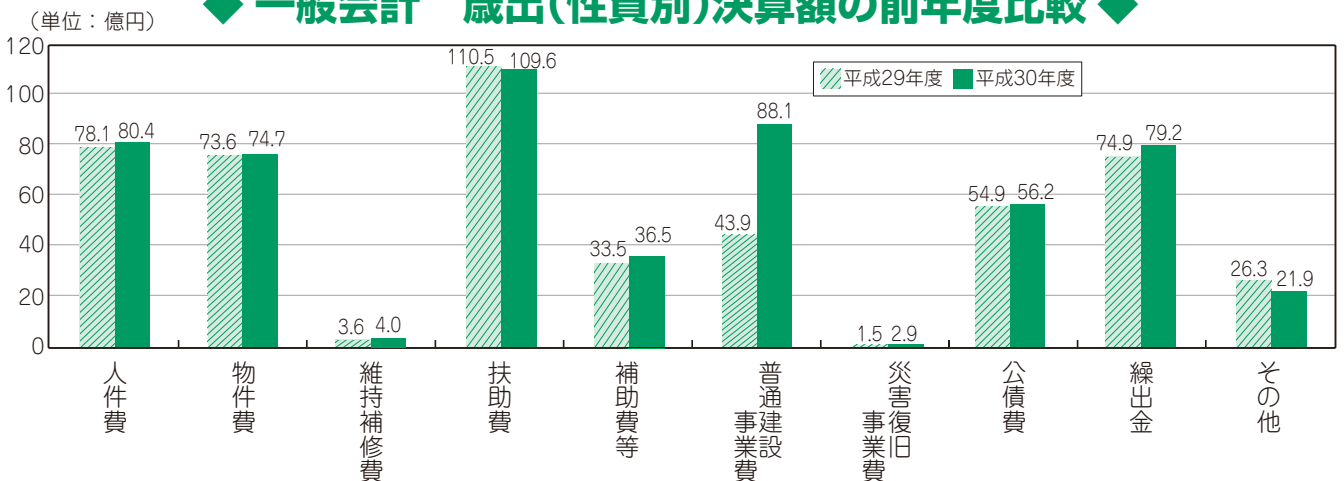
◆平成30年度一般会計・特別会計・企業会計決算（概要）◆

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一般会計		559億9004万円	553億3209万1千円	6億5794万9千円 (基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む)
特別会計	国民健康保険	129億4349万円	127億2851万5千円	2億1497万5千円 (基金積立額を含む)
	後期高齢者医療	31億3001万5千円	30億5401万4千円	7600万1千円
	介護保険	139億7428万4千円	134億14万円	5億7414万4千円
	住宅新築資金等貸付事業	626万7千円	593万4千円	33万3千円
	観光交通対策	6億22万2千円	5億166万1千円	9856万1千円 (翌年度へ繰越すべき財源を含む)
	土地取得	1億2534万3千円	1億2486万1千円	48万2千円
会計名		収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
企業会計	病院事業	72億5067万5千円	84億2619万3千円	▲11億7551万8千円
	水道事業	26億6920万9千円	22億5753万8千円	4億1167万円
	下水道事業	34億9677万8千円	32億9025万2千円	2億652万6千円

◆平成30年度一般会計決算の内訳（目的別）◆



◆一般会計 歳出(性質別)決算額の前年度比較◆



※普通建設事業費について、平成30年度88.1億円と、前年度比44.2億円の増額となった主な要因は、学校建設、庁舎改修等の建設費が増額となったためです。

※災害復旧費の事業費の決算額 平成29年度1億5,379万2千円
平成30年度2億8,930万6千円

決算特別委員会の概要

決算特別委員会は、9月20日から27日のうち5日間で、一般会計、各特別会計および各企業会計の平成30年度決算について分科会方式で審査しました。

9月 決算特別委員会

- 20日・産業建設分科会
- 24日・産業建設分科会
- 25日・教育民生分科会
- 26日・教育民生分科会
- 27日・総務政策分科会

審査の結果は、「平成30年度決算」を賛成多数で認定、「平成30年度伊勢市病院事業会計決算」、「平成30年度伊勢市水道事業会計決算」および「平成30年度伊勢市下水道事業会計決算」を全会一致で可決・認定すべしと決定しました。

各分科会では主に次の項目について、審査を行いました。

産業建設分科会

○歳入

道路占用料や住宅使用料など。

○歳出

農林水産業費 6次産業化、地産地消推進、水産業の担い手育成・確保など。商工費 創業支援、中小企業振興対策など。

観光費 「伊勢っ子」育て事業、観光協会の負担金など。

土木費 排水路の整備、電線の地中化、公営住宅の管理、空家対策など。

○特別会計・企業会計
住宅新築資金等貸付事業特別会計
観光交通対策特別会計
土地取得特別会計
水道事業会計
下水道事業会計



上村和生会長審査結果報告

教育民生分科会

○歳入

学校体育施設の修繕費用など。

○歳出

民生費 健康ポイント、高齢者の外出支援、ヘルプマーク・ヘルプカードの周知など。

衛生費 ゴミ排出量の分析や、ゴミ出しアプリの普及啓発など。

教育費 学校図書の実や、スポーツ施設修繕工事など。

○特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
介護保険特別会計
病院事業会計



浜口和久会長審査結果報告

総務政策分科会

○歳入

滞納処分等による市税の高い収納率を評価、キャッシュレス化の推進、ふるさと応援寄附金の返礼品の充実、財政収支の展望など。

○歳出

総務費 公共工事の入札方法、職員の適正な配置、ビッグデータの分析と活用、出会い・結婚支援、シティプロモーションの推進、シビックプライドの醸成、ふるさと応援寄附推進、公共施設マネジメント、集会所の耐震化、防犯灯のLED化など。

消防費 粉ミルクの適正な備蓄、停電時の対応、災害用トイレの整備など。

10月4日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会ごとの審査の結果報告がありました。また、10月8日の本会議で、品川幸久決算特別委員会委員長から決算全体の審査の結果報告がありました。会議の動画は、伊勢市議会のホームページからご覧いただくが、左のQRコードを読み取って視聴してください。

10月4日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会ごとの審査の結果報告がありました。また、10月8日の本会議で、品川幸久決算特別委員会委員長から決算全体の審査の結果報告がありました。会議の動画は、伊勢市議会のホームページからご覧いただくが、左のQRコードを読み取って視聴してください。



北村勝会長審査結果報告



品川幸久委員長審査結果報告

QRコードの利用方法については、12ページをご覧ください。



本会議 (10月8日)



決算特別委員会 (10月4日)

審議した主な議案の内容

令和元年度補正予算

▽令和元年度伊勢市一般
会計補正予算(第5号)
1億330万5千円

民生費

・老人福祉施設等整備事業
2514万千円

老朽化した認知症高齢者
グループホーム等の安全性
を確保するために、大規模
修繕等を行うことを支援す
る経費を増額。

商工費

・住宅・店舗リフォーム等
促進事業補助金
900万円

住宅・店舗のリフォーム
等促進事業補助金の交付申
請件数が当初予定を上回る
ことから、必要経費を増額。

土木費

・住宅・建築物耐震改修等
促進事業
3236万円

木造住宅耐震診断および
建築物除却工事補助金の交
付申請件数が当初予定を上
回ることから、必要経費を
増額。

災害復旧費

・河川災害復旧事業
3327万2千円

令和元年5月の大雨およ
び8月の台風により被災し
た河川護岸の復旧をするた
めの必要経費を増額。

条例

▽伊勢市会計年度任用職員
の給与等に関する条例の
制定

会計年度任用職員制度が
創設されたことにより、フ
ルタイムの会計年度任用職
員には、給料および手当を、
パートタイムの会計年度任

用職員には、報酬および期
末手当を支給することとし、
それぞれの種類や基準等に
ついて規定するもの。

施行期日
令和2年4月1日

会計年度任用職員制度について

地方公務員の臨時・非常
勤職員は、地方行政の重要
な担い手となっています。
そのような中、臨時・非
常勤職員の適正な任用、勤
務条件を確保するため、地
方公務員法および地方自治
法の改正が行われ、「会計
年度任用職員制度」が創設
されました。

▽伊勢市印鑑の登録及び証
明に関する条例の一部
改正

住民基本台帳法施行令が
改正され、住民票、個人番
号カード等に旧姓を記載で
きることとなったため、条
例を改正するもの。また、性
同一性障害等に配慮し、印
鑑登録の登録事項および印
鑑登録証明書の記載事項が

ら男女の別を削除するもの。
施行期日
令和元年11月5日

その他

▽事務用パソコンの取得

Windows7のメー
カーサポートが令和2年1
月に期限を迎えることから
市の各所属に配置している
パソコンをWindows10
のパソコンに更新し、情報
セキュリティの維持、向上
を図るため、購入するもの。

・取得する機器

事務用パソコン
1181台

・落札業者

株式会社アイ・シー・エス
三重営業所

・買入価格

8606万5100円

▽市道の路線の認定

旭令1・17号線ほか10路
線を市道として認定し、管
理を行おうとするもの。

議 会 日 誌

7月

。6月定例会
(6月17日～7月3日)

1日。総務政策委員協議会

12日。教育民生委員会

16日。議員研修会

22日。議会運営委員会

23日。条例等検討分科会

30日。7月臨時会

。産業建設委員会

。広報検討分科会

8月

8日。高校生議会

26日。産業建設委員会

。同協議会

。条例等検討分科会

27日。教育民生委員会

。同協議会

28日。総務政策委員協議会

。広聴検討分科会

29日。全員協議会

。各派代表者会議

9月

2日。議会運営委員会

。同協議会

。企画調整部会

9日～10月8日

。9月定例会

9日。議会のあり方調査特
別委員会

18日。各派代表者会議

7月臨時会を開会しました

令和元年7月臨時会を7月30日に開会しました。

「令和元年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）」をはじめとする4議案が提出され、本会議、各常任委員会において、慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決しました。

そのほか報告1件を承認しました。

審議した主な議案の内容

令和元年度補正予算

▽令和元年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）
1億5286万2千円

10月1日から実施された幼児教育・保育の無償化に関する経費のため、増額補正しました。

◆◆◆ 審議した案件と結果（9月定例会） ◆◆◆

9月定例会

全会一致の案件

〔議案〕

議案番号	案件名	審議結果等
議案第 34 号	平成30年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び資本金の額の減少並びに平成30年度伊勢市病院事業会計決算認定	可決及び認定
議案第 35 号	平成30年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市水道事業会計決算認定	可決及び認定
議案第 36 号	平成30年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市下水道事業会計決算認定	可決及び認定
議案第 37 号	令和元年度伊勢市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第 38 号	令和元年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第 39 号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備	原案可決
議案第 40 号	伊勢市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定	原案可決
議案第 41 号	伊勢市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部改正	原案可決
議案第 42 号	外国語指導助手の給与及び旅費に関する条例の全部改正	原案可決
議案第 43 号	伊勢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	原案可決
議案第 44 号	伊勢市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	原案可決
議案第 45 号	事務用パソコンの取得	原案可決
議案第 46 号	市道の路線の認定	原案可決
議案第 47 号	伊勢市教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意
議案第 48～50号	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと	同意
議案第 51 号	伊勢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正	原案可決

〔発議〕

発議第 4 号	伊勢市議会基本条例の一部改正	原案可決
発議第 5 号	常任委員会の閉会中の継続調査	原案可決

〔報告された案件〕

報告第 9 号	継続費の精算報告	承認
報告第 10 号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率の報告	承認
報告第 11 号	平成30年度決算に基づく資金不足比率の報告	承認
報告第 12 号	専決処分事項の報告（物損事故）	承認

◆◆◆ 審議した案件と結果（7月臨時会） ◆◆◆

7月臨時会

全会一致の案件

〔議案〕

議案番号	案件名	審議結果等
議案第 29 号	令和元年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第 30 号	伊勢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等に関する条例等の一部改正	原案可決
議案第 31 号	伊勢市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の制定	原案可決
議案第 32 号	伊勢市立保育所における給食の実施に関する条例の制定	原案可決

〔報告された案件〕

報告第 8 号	専決処分事項の報告（物損事故）	承認
---------	-----------------	----

9月定例会

賛否の分かれた案件

〔議案〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	24	25	26
議員名	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世古	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	小山	浜口	山本	宿	世古	中山
議案番号	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	敏	和久	正一	典泰	新吾	裕司
議案番号	案件名																		審議結果						
議案第33号	平成30年度決算認定																		賛成多数 認定						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔請願〕

請願第1号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願																		賛成多数 採択						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願																		賛成多数 採択						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願																		賛成多数 採択						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	防災対策の充実を求める請願																		賛成多数 採択						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔発議〕

発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出																		賛成多数 原案可決						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出																		賛成多数 原案可決						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第7号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出																		賛成多数 原案可決						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第8号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出																		賛成多数 原案可決						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第9号	防災対策の充実を求める意見書の提出																		賛成多数 原案可決						
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

・○は賛成、×は反対。中山議長は通常採決に加わりません。

可決された意見書

次の5意見書は、同内容の教育関係4請願を採択、また財政関係1発議を原案可決後、意見書として議長名で関係機関へ送付しました。

▽義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書

▽教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

▽子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

▽防災対策の充実を求める意見書

▽地方財政の充実・強化を求める意見書

市政を問う

9月定例会では、9月17日および18日の2日間、1人の議員が議案質疑を、7人の議員が一般質問を行いました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします（発言順に記載）。

議案質疑…予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問…市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

議案質疑

議案第33号

平成30年度決算認定について

平成30年度決算を見て、今後の財政運営の考え方を聞きたい

答 行財政改革を進め、歳出抑制に努める



浜口和久 議員
(志誠会)



問 今後、多額の財政需要が見込まれ、市税収入の増も難しくなる等、財源確保も課題となるが、財政調整基金の見通しは。

答 令和元年度から令和3年度までの3カ年において、決算ベースで約35億円を取り崩し、令和3年度末時点において、財政調整基金の残高を約88億円と見込んでいる。

問 プライマリーバランスの今後の見通しは。

答 令和2年度についても、黒字化を達成することが難しいと見込んでいるが、令

和3年度には黒字化への転換を目指していきたい。

問 合併当初の決算額は約420億円程度、近年500億円を超える決算状況になってきている。決算額が増大している要因は何か。

答 長期的に見ると増加傾向にある。各年度の決算額の増減については、投資的経費の増減による影響が大きいほか、国の制度改正等に伴う扶助費の増加、介護保険特別会計等、福祉関連の特別会計および企業会計への繰出金が増加していることが挙げられる。



平成30年度の決算関係書類

問 市町村合併における財政上の優遇措置である普通交付税の加算額について、優遇措置終了後の影響額はどの程度か。

答 普通交付税の特例加算については、平成30年度決算において、約5億円あることから、令和3年度にはこの5億円が影響を受けると見込んでいる。

防犯カメラの設置に関する本市の取り組みについて聞きたい

答 自治会が設置する防犯カメラへの助成制度を検討している



小山 敏 議員
(祥山会)



問 自治会が防犯カメラを設置するのは、ハードルが高くて難しいのではないかと考えている。

答 設置を助成できるような制度を考えている。

問 伊勢市が直接設置する考えはないのか。

答 今後、必要な所については、それぞれの関係機関とも調整しながら検討する。

問 公設の駐輪場や駐車場、通学路には市が防犯カメラを設置すべきではないか。

答 今のところ、街頭に付けていくということはない。運転免許返納を促進するインセンティブについて

問 運転経歴証明書の発行手数料を市で負担する考えはないか。改めて問う。

一般質問

答 引き続き他市町の動向を注視していきたい。

交通弱者の移動手段について

問 ドア・ツー・ドア型のデマンドタクシーに関する調査研究の結果を聞きたい。

答 民間の交通事業者と競合する地域では、伊勢地域公共交通会議幹事会で運行許可が得られなかった。他の地域でもタクシー事業者から非常に難しいとの回答を得ている。

問 高齢者の福祉施策として、ドア・ツー・ドア型のデマンドタクシーを導入する考えはないか。

答 現状では実施は難しい。地域のボランティア輸送を

支援して、ドア・ツー・ドア型の移送サービスを進めていきたい。



防犯カメラ設置の一例

伊勢市における路上喫煙禁止の目的は

答 喫煙者・非喫煙者の快適な空間と安全・安心な生活環境を確保したい

吉岡 勝裕 議員
(勢風会)



問 国においては、受動喫煙防止に向け、健康増進法の一部を改正し、公共施設等の規制も強化され、分煙環境整備が進んでいる。平成29年度の喫煙率は17.7%。市を訪れる観光客のためにも、喫煙環境の整備も必要と考える。路上喫煙禁止区域の考えは。

答 ポイ捨てが見受けられる区域や観光客等への啓発等を講じる必要がある区域で、公共の場所を指定し、7カ所の喫煙所を設置する。

問 内宮前バス・タクシー乗り場や五十鈴川河川敷道路も禁止エリアに含むべきでは。

答 今後の推移を見ながら区域の追加・変更をしていきたい。

問 電子たばこ等の規制は。

答 今回の規制では、電子たばこ・加熱式たばこを紙巻たばこと同様に対象としている。

問 禁止区域の指定について地元の意見は。

答 外宮参道発展会では約

7割・伊勢おはらい町会議では、約9割の方から賛成意見をいただいている。

問 四日市市・桑名市は違反者に罰則を設けている。伊勢市も罰則を設けるべきと考えるが。

答 マナーアップ・モラル向上の観点から過料を設けないこととしたが、実施後の推移を見ながら路上喫煙対策審議会でも議論していきたい。



内宮前の喫煙所

一般質問

夜間運行のタクシーについて問う

【答】喫緊の課題と捉えている



中村

功 議員

(志誠会)



【問】夜の緊急時にタクシーが利用できず困るといふ声を聴くが、現状を把握しているか。

【答】夜間の時間帯毎に台数が減少しており、不足していると感じている。

【問】その原因は何か。

【答】運転手の高齢化、なり手不足、働き方改革による労働時間の変化、夜間の利益率が悪いことなどと事業者から聞いている。

【問】タクシー業界全体で、輪番制を導入することはできないか。

【答】事業者の意向が重要であり、事業面で難しいと思われる。

【問】可能な対策はないか。

【答】観光面などでも懸案と

なっており、解決に向け、商工会議所、観光協会など関係団体と検討会を立ち上げていく。

シティプロモーションの推進について

【問】対外的に市の魅力を発信するシティプロモーションの現状と課題を聞きたい。

【答】魅力度ランキングは、全国14位と、外部の関心・評価は高いが、市民の認知度は低い。転出超過のため、定住促進が課題である。

【問】今後どのように事業展開していくのか。

【答】伊勢の歴史や風土など、伊勢市の特性や優位性を訴え、市民の誇りや愛着を高

生活困窮者への庁内横断的な支援の体制はどうなっているか



【答】窓口での問題を他部署に繋ぐ庁内会議、支援調整会議で情報共有している

楠木 宏彦 議員 (日本共産党)



伊勢市駅前タクシー乗り場

めることで定住人口の増加を図るとともに、魅力度の向上や情報発信により、流入人口の増加も図り、地域の活性化に繋げていきたい。

【問】青年層における無業者の現状はどうなっているか。

【答】平成27年国勢調査によれば、15歳から39歳までの無業者は541人で、平成22年より68人増えている。

【問】青年無業者への支援はどうしているか。

【答】若者就業サポートステーションで、カウンセリング、生活の自立、就労体験などを行っている。

【問】サポートステーションへの登録が減少しているのはなぜか。

【答】一つは、雇用環境が改善されている。もう一つは、長期に登録している人が、登録をやめてしまったためである。

【問】サポートステーションなどに出向いてもらうことの難しさを解決していく方法は、何かあるのか。

【答】国において、ひきこもり支援センター、アウトリーチに携わる支援員の強化が図られている。関係機関と検討していきたい。

【問】ひとり親家庭への支援

のメニューはどんなものか。

【答】児童扶養手当、保育所・学童保育などの利用料の減額、職業訓練による給付金の支給、学習支援などがある。

中学校の生徒指導について

【問】先生の大声の叱責に比べる子どもがいる。体罰のみならず、威圧的な姿勢も正されるべきではないか。

【答】体罰に類する不適切な指導、それと疑われるような指導は慎むべきである。



生活困窮者やひきこもり等を支援する伊勢市生活サポートセンター「あゆみ」

現行の小中学校の2学期制を改め、新たな3学期制を検討すべきでは

答 新学習指導要領が導入される来年度にかけて検討していく



北村

勝 議員
(勢風会)



問 2020年度から実施される新学習指導要領が狙いとする資質・能力をどのように本市は捉えているのか。

答 確かな学力と社会参画力、豊かな心と健やかに生きていくための身体と捉えている。

問 英語教育の特徴について伺いたい。

答 国際的な様々な課題を発見し解決していくために、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

問 外国語教育のALT配置について聞きたい。

答 現在、18名のALTを配置し、各小中学校にてALTが入った授業が展開できているようにしている。

一般質問

問 授業で伊勢市の名所、歴史、文化、著名人といった内容の副教材を作成し、英語にて外国の方に紹介・案内できる力を養うことで、伊勢がさらに好きなり、自尊心が湧くと考えるが。

答 来年度小学校5年生の「I love my town」の単元で自分のまちを紹介する活動があるので、この活動の中で活用できる教材作成を検討していきたい。

問 プログラミング教育におけるICT機器の整備状況について伺いたい。

答 今年度に全校に導入し、3クラスに40台の割合で整備基準を満たすことができる。

その他の質問事項

- 防災士の育成について
- 農業振興施策と耕作放棄地解消の取り組みについて



外国語授業の様子

公共建築物にCLTや木質耐火部材等を積極的に活用する考えは

答 建築基準法をクリアし、市の建築物に活用していきたい



辻 孝 議員
(公明党)



問 SDGsの観点で環境を守る上から森林の保全対策は重要である。林業の活性化のため、国においては「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」に基づき「木材の利用の促進に関する基本方針」が策定されているが、市の公共建築物の木材利用の考え方はどうなっているのか。

答 平成24年に「伊勢市公共建築物等木材利用方針」を定め、高さ13m以下かつ軒高9m以下、延べ面積3千平方m以下の低層のものを木造化、それ以外は木質化を促進するとしている。

問 その範囲は、当時の建築基準法によるもので、方針策定以降、法律が変わって高さや面積が一定条件で緩和された。現行の基準法に合わせた方針にし、各部署に周知して木造化を図るべきと思うがどうか。

答 今一度見直し、修正を加え、庁内・教育委員会も含め周知したい。

問 国や地方公共団体は、

CLT、木質耐火部材等新たな木質部材の積極的な活用に取り組むこととなっているがどうか。

その他の質問事項

- がん治療で脱毛や、乳房切除を余儀なくされた方へのウィッグ（かつら）や乳房補装具の補助金創設について
- ヘアドネーション活動の認知度アップについて



木材を利用した公共建築物
(伊勢市駅手荷物預かり所)

※ALT (Assistant Language Teacher) …外国語を母国語とする外国語指導助手

※ICT (Information and Communication Technology) …情報通信技術

※CLT (Cross Laminated Timber) …木の繊維の方向が直角に交わるように板材を重ねて接着した大判のパネルで、軽くて強度や断熱性に優れる。

※SDGs (Sustainable Development Goals) …国連で採択された持続可能な開発目標、「エスディーゼース」と読む。

一般質問

施設類型別計画中の支所、総合支所機能、名称、位置等は全て仮のものか



野崎 隆太 議員 (政友会)



【答】再編6庁舎に配置する行政組織のあり方等は、今後検討することとする

【問】施設の機能廃止は、例えば今日廃止すれば、施設の人件費、光熱水費等、いわゆるランニングコストが浮いてくる。その効果を求めて質問をしている。公共施設の整理についてランニングコストよりも、施設更新時期に重きを置いた計画になっているのではないか。

【答】施設類型別計画に定める目標値を達成するため、更新等費用を抑制することとしている。計画ではさらなる経費削減を目指し、ランニングコストの削減にも努めることもしている。また、施設類型別計画に示されている各施設の見直し時期は、目安として財務省令に定める耐用年数が到来する時期を記載したもので、廃止や除却の時期を定めたものではない。例えばマネジメント白書によると、支所を一つ廃止すると、年間約1,000万円コストが削減できる。5年前に廃止をすれば、5年間で5,000万円浮いたかという議論もできる。どこで区切りをつけるのかにもっと重きを置いて進めていくべきではないか。

伊勢市議会のホームページで、会議を収録した動画を配信しています。
「伊勢市」のホームページを開き、「伊勢市議会」→「伊勢市議会動画配信」より視聴してください。

ランニングコストを意識し、このマネジメントを進めていきたい。

伊勢市施設類型別計画

議案質疑・一般質問等のQRコードの掲載について
議案質疑・一般質問ページにおいて、各議員のYouTubeを利用した録画放送へリンクするQRコードを掲載しています。各議員の顔写真の掲載記事欄にあるQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。
※QRコードを読み取るためのアプリが必要です。
インストールされていない方は、インストール後にご利用ください。

伊勢市議会ホームページのQRコード

視聴方法
アプリを起動してスマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ってください。画面上にURL（アルファベットの文字列）が表示されますので、クリックし、YouTube（外部サイト）を選択してください。
※機種やアプリによって操作方法は異なります。
※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

※6庁舎…施設類型別計画の中で本庁舎、3総合支所、北浜・沼木の2支所としている。

「伊勢市議会政策立案及び政策提言実施要綱」を制定しました。

議会のあり方調査特別委員会の条例等検討分科会では、議会基本条例をはじめとする議会に関する条例等の調査・検討をしています。

今回、平成29年に制定した「伊勢市議会基本条例」の一部改正を行い、政策立案機能の強化や市長等に対する政策提言を行うことについて規定するとともに、「伊勢市議会政策立案及び政策提言実施要綱」を新たに制定しました。

「政策立案」 …… 市政における課題の解決を図るため、議会自らが政策を構想し、その実現のために必要な条例の制定、または決議等を行うこと。

「政策提言」 …… 市政における課題の解決を図るために必要な施策を、議会全体の政策として、市長等に提案すること。

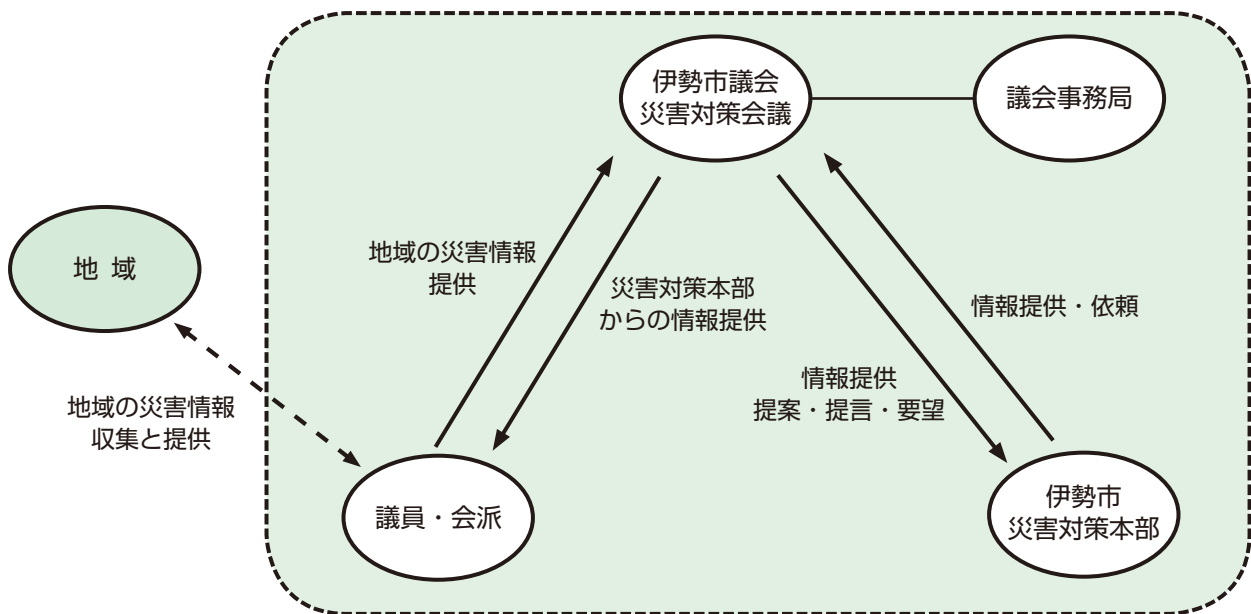
「伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）」を策定しました。

大規模災害時の議会と議会事務局の行動基準をより明確にするため、平成28年に制定された「伊勢市議会大規模災害対応基本方針」を見直し、「伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）」を新たに策定しました。

○想定災害

1. 伊勢市内で震度5強以上の地震が発生したとき
2. 伊勢市に大津波警報が発表されたとき
3. 暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局地的又は広範囲な災害が発生したとき
4. 伊勢市内で大規模な火災、爆発、水難等が発生したとき
5. その他重大な災害が発生したと議長が認めるとき

大規模災害時に伊勢市議会災害対策会議を設営し、以下の活動を行います。



伊勢学園高等学校

外国人観光客の受け入れとその取り組みについて



問 伊勢志摩には、たくさんの観光地があり、2016年に行われた伊勢志摩サミットの効果もあり、外国人観光客が増えてきています。外国人観光客の受け入れには、様々な国の人が過ごしやすいような取り組みを進めていかなければならないと考えますが、多言語への対応等、現在伊勢市で行っている取り組みは何かありますか。

答 伊勢市駅等市内5カ所の観光案内所に、英語や中国語に対応可能なスタッフが配置されています。また、外国人観光客がスマートフォンを利用して周遊されている方を多く見かけるため、今後は外国語版のホームページの充実を図り、改良を行っていく予定です。

皇學館高等学校

中心市街地の活性化計画と環境施策について
～若者をよびこむための活性化計画～



問 伊勢市の中心には大きな駅があり、集客が狙える場所となっています。学校から帰宅する学生を対象とした施設やイベント企画があれば、地元の人も含め、地域活性化や伊勢市の発展につながると思いますが、全ての世代が様々な目的で集まることができる場を提供することはできないでしょうか。

答 伊勢市駅前地区での市街地再開発で、民間事業者が進める事業に対し、補助金等による支援により、住環境の整備を行い、人口の定住を進めるほか、周辺商店街への人の流れを誘導し、商店街の活性化を図っていきます。また、イベントの開催等を通じて、全ての世代が集まれる場所を提供していきます。

伊勢市高校生議会議を 開催しました

次代を担う高校生の皆さんに、日頃感じている市政に対する疑問点や、これからの伊勢市に望むことを、議員となって質問していただきました。

また、議長役は日頃から伊勢市議会と連携をしている皇學館大学の「みんなの声を聞くには？プロジェクト」のメンバーに務めていただきました。

16ページに概要を掲載しています



宇治山田高等学校

どうすれば伊勢市で電子マネーを普及させることができるのか



問 市内の商店街等で電子マネーについて聞き込み調査を行いました。経済的負担や事業継続の不安などから、取り入れているお店は多くありませんでした。キャッシュレス化を進めることが、市民生活をより豊かにし、伊勢市の発展にもつながるのではないかと考えています。電子マネーを積極的に活用できるようにするために、市としてどのような支援を行っていますか。

答 商工会議所と連携し、電子マネー「伊勢志摩WAON」を用いて決済した場合、WAONポイントに加えて、地域ポイントである「伊勢マイル」を交付する等の施策を行っています。使える店舗は限りもあり、今後の課題と認識しています。

各種ご案内

議 会 放 映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。
なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。

9月定例会会議録

9月定例会の詳細は、「9月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ12月中旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

宇治山田商業高等学校

痴漢被害の対策について



問 私たち高校生の多くは、通学のため電車を利用しており、痴漢被害が身近な犯罪と考えました。痴漢に遭わないための対策の一つとして、若者の間で少しずつ広まりを見せている「痴漢抑止バッジ」、スマホを使って周囲に助けを求められることができる防犯ブザーや「デジポリス」という痴漢撃退機能がある防犯アプリもあります。これらの対策をたくさんの人に知ってもらいたいと考えますが、伊勢市の見解はどのようなものですか。

答 伊勢警察署と連携し、駅周辺で痴漢被害防止チラシを配布したり、学校から依頼をいただければ、「デジポリス」の紹介も含めた講習会も開催していきます。

英心高等学校

少子化対策について



問 少子化は未婚化や晩婚化等が大きな原因と言われています。子育てしにくい社会環境、仕事との両立が難しい職場環境、余裕を持って子育てができないといった経済環境等に対して、知恵を出し、汗をかくことで解決可能な問題があると思います。現在、伊勢市が独自に取り組んでいる少子化対策とその効果について教えてください。

答 「出会い・結婚支援事業」や「こども医療費窓口無償化の実施」等、出会い・結婚・出産・育児・教育と切れ目のない子育て支援を行っています。それぞれの支援事業を利用される方からは、喜んでいただいていると考えていますが、今後は事業のさらなる充実等に努めていきます。

伊勢工業高等学校

こどもたちのための施設及び高校生と連携した取り組みについて



問 私たちは、建築研究部のメンバーで高校と地域社会との連携による取り組みを行っています。みえこどもの城（松阪市）では椅子とテーブルを設計し、三重県民の森（菰野町）では、改築のための基本計画案を作成していますが、こどもたちの五感を最大限に引き出して、遊びながら木のぬくもりを感じ取る木育施設が伊勢市にあれば教えてください。

答 今のところこどもたちが遊びながら、木のぬくもりを感じ取れるような木育施設はないのが現状ですが、市内の施設には、木を材料とした椅子やテーブルもあり、今後、高校生の皆さんの設計等の技術を生かしていただけるような事業があれば協力をお願いします。

明野高等学校

GAP (農業生産工程管理) の知名度向上について



問 GAPとは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みです。明野高等学校では、豚、米、茶の三つの分野で東海地区初のGAPを取得し、様々な活動につながっていますが、まだまだ知られていないように感じます。知名度を上げるには、これからの社会を担う若い世代に向けて、動画製作やSNSを利用した宣伝を考えましたが、伊勢市では知名度を上げる活動は行われていますか。

答 提案をいただいた動画製作やSNSを利用したPR等、どのような啓発活動ができるか検討するとともに、GAPの重要性や必要性についてPRし、知名度の向上等に取り組めます。

12月定例会は、

12月2日～12月18日の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。



伊勢市議会では、本会議、常任委員会、特別委員会を原則公開しており、どなたでも傍聴することができます。毎回、身近で大切な問題を審議していますので、議会事務局または伊勢市議会ホームページで日程をご確認のうえ、傍聴にお越しください。

議会の傍聴

表紙の題字は

中島小学校の皆さんに書いていただきました。
今回は、中川怜美さんの「いせ」を採用しました。



題字を書いた時の感想

小学校最後になるので、記念になればと思い、一生懸命書きました。

中島小学校6年 なかがわ りな 中川 さとみ 怜美

いせ市議会だよりの表紙の題字は、伊勢市内の小学生から募集したものを学校ごとに掲載しています。
次号は、明倫小学校の皆さんの作品を採用する予定です。

「いせ市議会だより」の表紙写真を募集しています

詳細については、伊勢市議会ホームページをご覧ください。



伊勢市高校生議会を開催しました

伊勢市議会は、市民の皆さまに開かれた議会を目指すとともに、議会活動を広く理解いただけるよう議会の活性化に取り組んでおり、平成28年7月に議会のあり方調査特別委員会を立ち上げ、三つの分科会で活動をしています。その中の広聴検討分科会が主になり、このたび伊勢市高校生議会を初めて開催しました。

当日は7校18名の次代を担う高校生の皆さんが、模擬議会を体験することによって、市政や議会への関心を深めることができたとのこともありました。伊勢市議会ホームページに会議録も掲載していますので是非ご覧ください。



- **開催日時** 令和元年8月8日(木)
- **開催場所** 伊勢市役所 本館3階
市議会議場
- **参加人数** 7校18名

具体的な質問の内容等は、
14～15ページをご覧ください。

問い合わせ先
伊勢市議会事務局(本館3階)
〒516-8601
伊勢市岩渕1丁目7番29号

TEL ②1-5630
FAX ②1-5631
Eメールアドレス
gikai@city.ise.mie.jp

編集
議会のあり方調査特別委員会
広報検討分科会

品川 幸久	岡田 善行	北村 勝	久保 真	宮崎 誠	吉井 詩子	浜口 和久
委員	副会長	会長				